条幅部自由参考

2月25日正午必着

明石春浦先生書

處處寒梅映酒旗（しょしょのかんばいしゅきにえいす）

（李羣玉）

昔の村落の光景。

明月照高樓　流光正徘徊
上有愁思婦　悲歎有餘哀

（曹植）

明月は高樓を照らし、流れるが如きその光はさまようかのようである。
高どのの上には憂いに沈む婦人がおり、悲しみ歎いて尽きぬ哀れさがある。

明石幸子書

2月25日正午必着

水仙を　ふるさとの花と　思うとき　暗き海色の　花瓶を選ぶ（俳　万智）

菅井松雲先生書

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

鶯啼燕語（皇甫冉）

香凝苑雪梅先放
翠入宮烟柳乍含（何景明）

送人歸山（石　召）

相逢惟道在　誰不共知貧
歸路分殘雨　停舟別故人
霜明松嶺曉　花暗竹房春
亦有棲閑意　何年可寄身

春雨を　ふくめる空の　薄曇　山吹の花の　枝もうごかず　（正岡　子規）

鶯　啼き　燕　語る

香は苑雪を凝らして梅先ず放き
翠は宮烟に入りて柳　乍　含む

新春の景物を形容せしものである

人の山に帰るを送る　石　召

相逢うて　惟だ道のみ在り　誰か共に貧なることを知らざらん
帰路　残雨を分ち　舟を停めて　故人に別る
霜は明らかなり　松嶺の　暁　花は暗し　竹房の春
亦た棲閑の意有り　何れの年か　身を寄す可き

立春のころ梅花が咲き、柳が芽をふくころの景。

半紙部規定課題Ａ

2月25日正午必着

明石春浦先生書

※作品には必ず落款を入れてください。

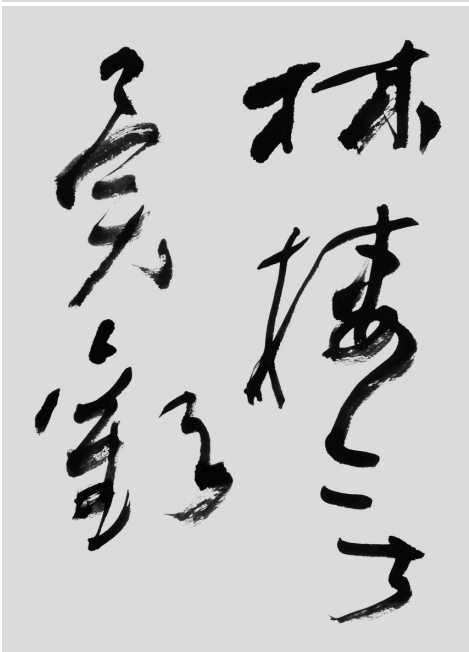
※課題Ａ（楷書）と課題Ｂ（四体の中より一書体選択）の二点を出品のこと。

半紙部規定課題Ｂ

2月25日正午必着

行書

草書



隷書

行草書

明石春浦先生書

林中の住居には格別の楽しみもなく　花壇の垣根のほとりに茶を淹れるほどのこと
雀は北の窓辺に餌を啄んで日は暮れゆき　僧が西の　閣をうち開けばひえびえとしている
橋につきあたりつつ、二つの川はすみやかに流れ　月光の下に撞く鐘の音はわびしくもうすれゆく
夜明けにはまたお別れせねばならぬ　前途の険しさをいたずらに悲しむばかり

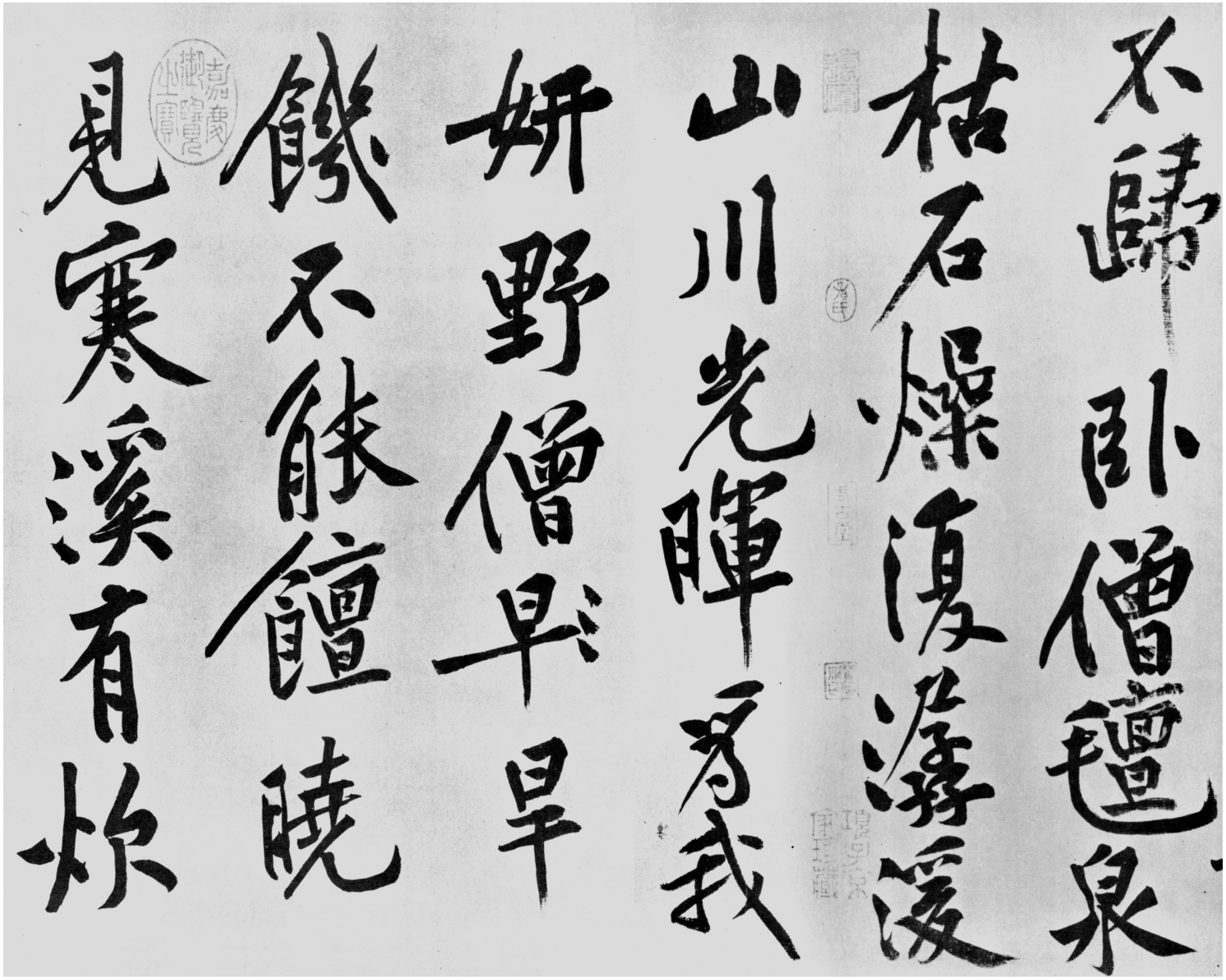
龍翔喜二胡權訪宿一　喩鳧

林棲無二異歡一
煮レ茗就二花欄一
雀啄二北窻晩一
僧開二西閣寒一
衝レ橋二水急
扣レ月一鐘殘
明發還分レ手
徒悲行路難

竜翔にして胡権が訪ねて宿するを喜ぶ　喩鳧

林棲　異歓無し
茗を煮て　花欄に就く
雀は北窓の晩に啄み
僧は西閣の寒きを開く
橋を衝いて　二水急に
月を扣いて　一鐘残す
明発　還た手を分つ
徒らに悲しむ　行路の難きを

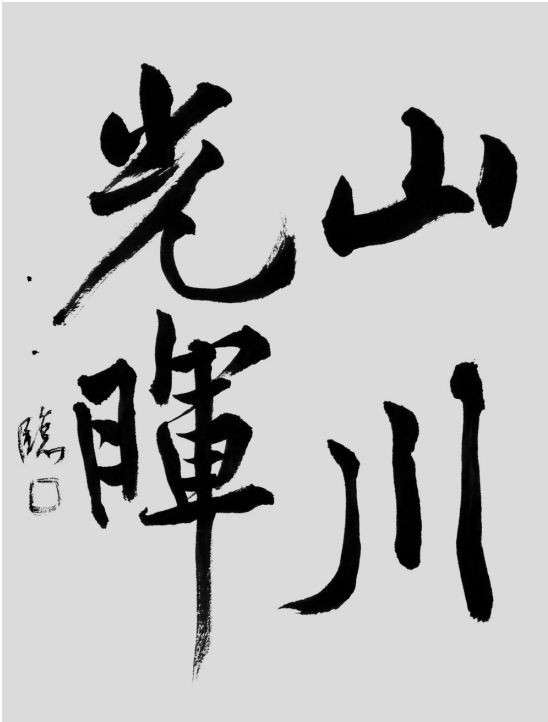
（出典）
朝日新聞社刊
「三体詩」下より



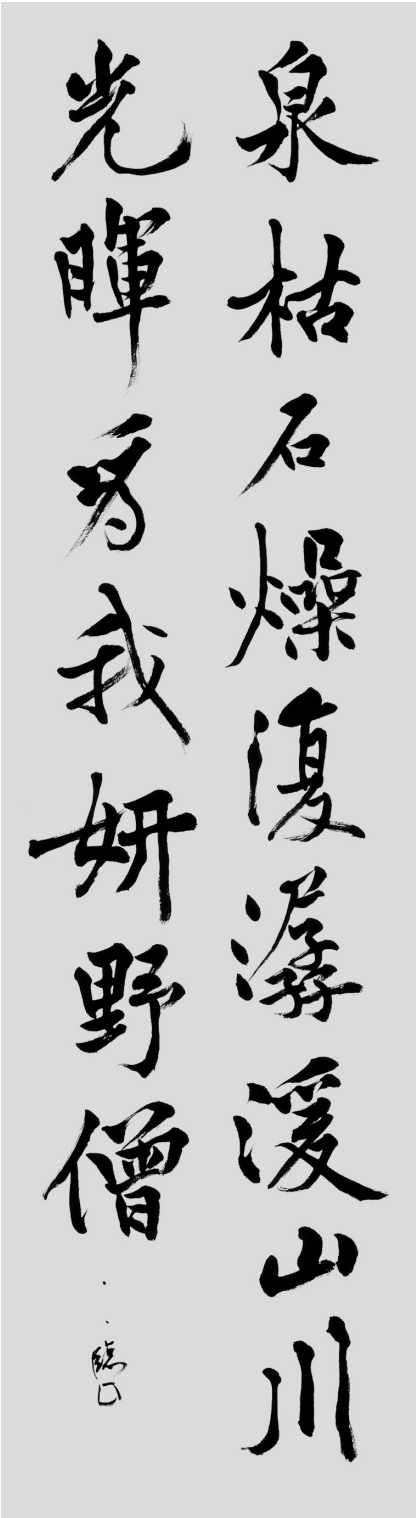
（相看）不帰臥僧氈　泉枯石燥復潺湲　山川光輝為我妍　野僧旱飢不能饘　暁見寒谿有炊（煙）

（相い看て）帰らず　僧氈に臥す　泉は枯れ　石は燥くも復た　潺湲たり　山川の光輝　我が為に妍なり

野僧　旱飢　饘する能わず　暁に見る　寒谿に炊（煙）有るを



山川の光輝



泉は枯れ　石は燥くも復た　潺湲たり　山川の光輝　我が為に妍なり　野僧（旱飢　饘する能わず）

宋　黄庭堅・松風閣詩巻

黄庭堅は北宋後期の文人で字は魯直、号は山谷という。書は宋の四大家（蔡襄・蘇軾・黄庭堅・米芾）の一人にあげられ、北宋の強烈な新書風を代表する大家である。

庭堅は新旧両法党の争いの中で左遷させられ、幾度となく各地に流されるという不遇の主といわれている。

宋代書風の展開は、前時代の書法の衰退のあとを受け、伝統的な晋唐の書法の再建にはじまり、のちにやがて革新の気を帯びて、精神の発揚の象徴としての書への大転換がみられる。特に蘇軾・黄庭堅・米芾の三人はいずれも顔眞卿の影響を強く受け、それぞれの風格をもって後世に受け継がれることになった。

この詩巻は、左遷による鬱屈した庭堅の気持ちが強くにじみ出ているといわれている。師と仰ぐ蘇軾の死と流謫中の不自由な境涯を嘆き悲しむといった心境を巧みに織込んでいる。その書は、いわゆる顔法の影響がみられ、更に※遒勁整密・姿態のおもしろさが魅力であるが、その上に不遇な境遇に屈しないで自らの天地を求めようとする強い精神がにじみ出ているように感じられる。（春廣）

※遒勁…書・画・文章等の力強いこと。

2月25日正午必着

教育部毛筆

雨宮春聲先生書

書簡（しょかん）　中学一年

菅井松雲先生書

飛鳥（あすか）　中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

榎戸春龍先生書

館（かん）　長（ちょう）　小学五年

横川春川先生書

批（ひ）　評（ひょう）　小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

2月25日正午必着

藤田幸春先生書

重（おも）い　小学三年

細谷春誠先生書

天（てん）候（こう）　小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

明石幸子書

う　め　　小学一年・幼年

森戸春濤書

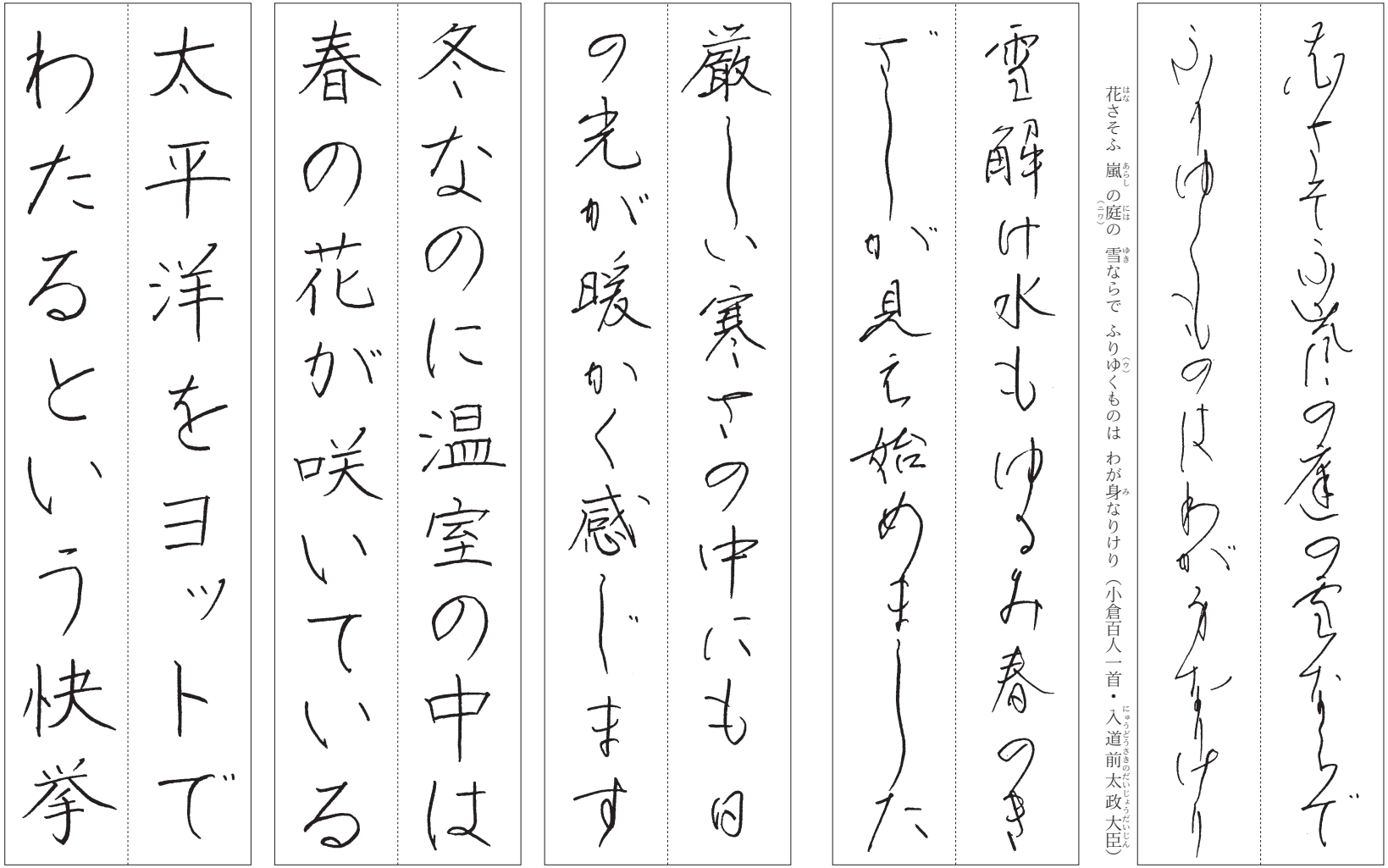
合（あ）う　　小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

2月25日正午必着

ペン字部



明石幸子書

小学五年　小学六年　中　学　一般（級位）　一般（段位）

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆　中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。（ボールペン不可）
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

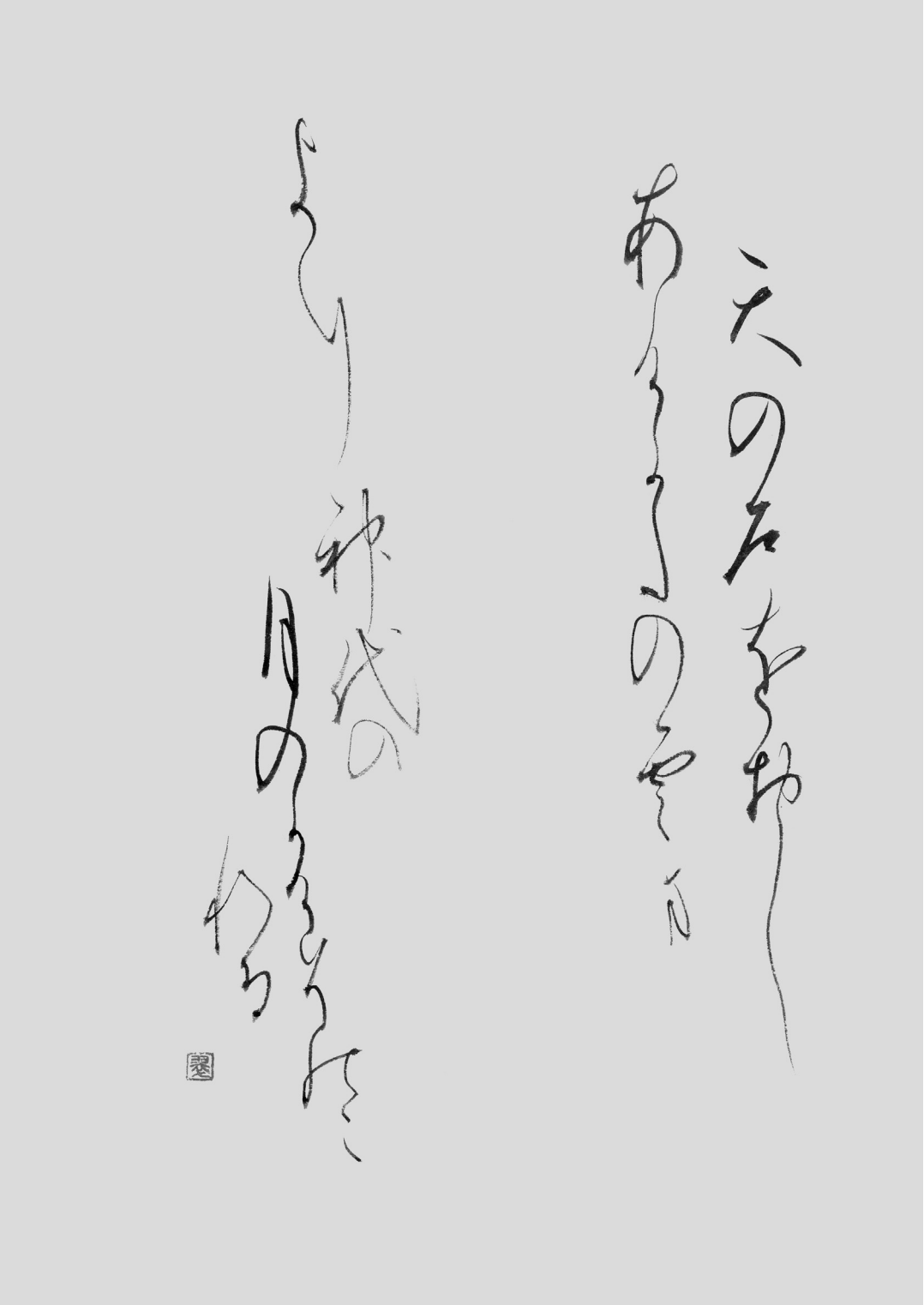
明石幸子書

幼　年　　小学一年　　小学二年　　小学三年　　小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆　中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。（ボールペン不可）
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

半紙部かな参考

2月25日正午必着



天の戸を　おしあけかたの　雲まより　神代の月の　かけそのこれる　（新古今集）

介可多　万　可介曽能

松永翠舟先生書